

兵解協だより

（一社）兵庫県解体工事業協会

（公）全国解体工事業団体連合会会員

事務局 神戸市兵庫区北逆瀬川町3-11・3F

TEL 078-681-7710

TEL 078-599-8874

E メールアドレス n-kaitai@hb.tp1.jp

工場見学・勉強会を開催いたしました。

令和3年9月22日（水）PM3時から、（株）イボキン様のご好意により、イボキンの本社工場・龍野工場の見学会と勉強会を開催いたしました。これは今年7月に設立いたしました、（一社）兵庫県解体工事業協会技士会（委員長宮田哲男（株）イボキン）が初めての事業として実施したものでございます。「非常事態宣言発出中」ではございましたが、感染予防対策を十分に実施しながら開催いたしました。12社26名が参加いたしました。

当日はPM3時にイボキン本社工場前に集合、高橋克実社長も駆けつけていただき、ご挨拶を賜りました。（株）イボキンでは、鉄スクラップのみに依存する状況からいち早くリサイクル需要に対応できる体制へシフトするため2002年10月に龍野工場を開設し、スクラップの業務を龍野工場に移し、産業廃棄物処理の業務を本社工場に集約し、本格的な「環境事業」を立ち上げ、さらに、スクラップ及び廃棄物の発生元である解体工事業を開始し、従来からの「金属事業」と合わせて総合リサイクル企業として歩み始めました。そして業容の変化を機に商号を2003年に「イボキン」に変更しました。そして、2013年には国から「小型家電リサイクル法」に基づく再資源化事業者の認定を受けました。これにより、解体建物内にある産業廃棄物はほとんど取り扱うことが出来るようになりました。そして、2018年8月に東京証券取引所JASDAQへ上場し、解体から最終処分までを自社で完結できる「ワンストップ・サービス」を推進する体制を整えました。また、環境負荷の低減に向け、環境保全活動を推進するために「イボキン環境方針」を制定しています。今後とも社員・社会に貢献し選ばれる企業を目指しています。

さて、工場見学は、「環境事業」の拠点の本社工場からはじめました。最初は、木くずリサイクルラインで、「木くず」は木材リサイクラーで粉砕され、旋回スクリーンを導入し品質管理が徹底され、純粋で良質の「木材チップ」が生成されていきました。次に飲料空容器リサイクルコーナーで、磁力選別、スチール缶を分別し、手選別にてペットボトルを分別、瓶はリサイクル施設へ、缶・ペットボトルはプレス加工し再生原料として生成されていきました。続いて、金属系廃棄物リサイクルラインで、プレス加工のほか、シュレッダーでは最後、自動選別ライン（メタルソーター）及び手選別によりアルミ、ステンレス、鉄、基板などの非鉄金属やプラスチック類を選別しておりました。次にプラスチックサーマルリサイクルで、混合廃棄物を手選別し、塩素を含まない廃プラスチックを取り出し50mmアンダーまで粉砕処理が行われ、粉砕後の廃プラスチックは、石炭の代用品としてリサイクルされておりました。続いて、小型家電リサイクルで、小型家電リサイクル法」に基づく再資源化事業者に認定されており資源の少ない日本で有用資源に貢献しています。次にフロン含有機器リサイクルで、業務用冷蔵庫・空調機器・飲料自動販売機などを解体、選別、中間処理をし再資源化を行っていました。また、フロンガスは適正に回収をし、環境の負荷の低減に配慮しています。次にOA機器リサイクルで、解体分別を徹底し、レアメタルをはじめとする様々な資源をリサイクルしています。

そして場所を、「龍野工場」に移動し、金属事業の鉄スクラップ原料生成過程を見学いたしました。ここでは、ギロチンシャー・ラバンテーシャー・重機のZX330CL・プレス機・シュレッダー等の大型機器が活躍、さらに鑄造スクラップ原料生成過程では、プレス機・自動メカニカルシャーが活躍し品質にこだわり、分析器を用いて、材質分析を行っています。次に非鉄金属・

兵解協だより

(一社) 兵庫県解体工事業協会

(公) 全国解体工事業団体連合会会員

事務局 神戸市兵庫区北逆瀬川町3-11・3F

TEL 078-681-7710

TEL 078-599-8874

E メールアドレス n-kaitai@hb.tp1.jp

レアメタルスクラップ原料生成過程では、メーカー規格に準じた再生処理(選別・圧縮・切断・破砕)をします。また、レアメタルという貴重な資源のリサイクルも取り組んでいます。最後に自動車ルサイクル部門の見学を行いました。ここでは、フロンガス回収・エアバック処理・各 부품の取り外し、ボチプレスまでの作業を専用工場で行っています。

以上で1時間30分にわたる丁寧のご案内による工場見学は終了いたしました。参加者は、工場見学の間数多くの様々な質問をされておりましたが、係員は丁寧に対応をいただきました。最後に、参加者にご感想を聞く意見交換会を行いました。①「とても勉強になりました。」②「ここまで丁寧に資源リサイクルを徹底し、環境保全に対する社会的責任を果たされているのに驚きました。」③「特に金属スクラップを選別・加工し付加価値を高めている収益事業は素晴らしい。」等参加者は一応に「参加してとても参考になりました」と工場見学にご満足していただいたようです。

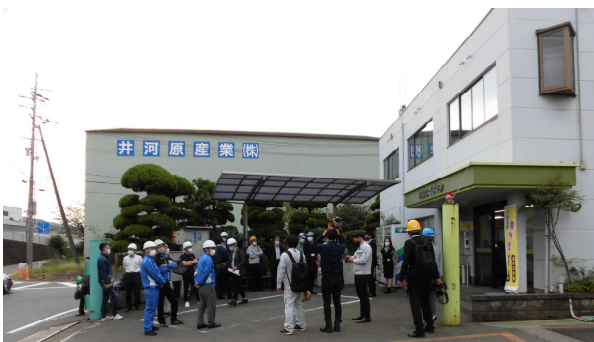
工場見学のまとめをいたしますと、工場の各部門がワンチームとなり、業務を一体的、効率的に推進して環境負荷の低減に配慮し、収益を上げつつ、社会貢献をしている姿勢に感激いたしました。また、社員の平均年齢が39、9歳と非常に若くこれからも永く成長し続ける企業であることが確信できました。さらに、業績面では、2021年12月決算で会社予想によりますと、売上高は前年比55、4%増、経常利益は前年比74、0%増と驚異的な成長が見込まれております。

本日は、非常事態宣言発出中にも関わりませず、お忙しい中、高橋克実社長様をはじめ、宮田委員長、イボキンの皆様方には、心のコもった丁寧な、「工場見学」をご案内いただきまして誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

なお、イボキン様によりますと本日参加できなかった会員の皆様、「ご連絡いただければ人数にかかわらず、いつでも、工場をご案内いたします。」とのことですので、ぜひご見学いただきたいと思ひます。

兵解協技士会では、このような工場見学をはじめ、講習会、勉強会等様々な行事を開催いたしますので、多くの会員の皆様方の参加をお待ちいたしております。

イボキン「本社工場見学会」・「勉強会」
令和3年9月22日(水) PM3:00~



イボキン本社工場前に集合



挨拶をする高橋克実社長

兵解協だより



建設廃材などの木くずリサイクル



混合廃棄物選別ライン



プラスチックサーマルリサイクル



工場見学の風景



金属系廃棄物自動選別ライン



1250トンギロチンシャー



大型鉄製品の解体



1000トンギロチンシャー